



石川県津幡町 資料提供

平成31年1月18日
町民福祉部子育て支援課
担当:西田 知佳子
☎076-288-3019

津幡町生涯教育課 児童センター共催

「青い目の人形 ジェーン・オルフ」(津幡町指定文化財)の特別展示

及びおはなし会について

1. 概要・目的など

日米親善を目的にきた「青い目の人形 ジェーン・オルフ」は、町立実生保育園に保管され、毎年、3月3日の雛祭りに雛人形と一緒に飾られてきました。今回、雛祭りに向けて、特別展示とおはなし会を開催することにしました。展示とおはなし会を通して、人形が守られてきた経緯やそれを大切にしてきた人達の思いを伝えるとともに、平和と国際交流の大切さを学び合う機会にしたいと思います。

2. 開催日時・日程

展示 平成31年2月16日(土)・17日(日) 午前9時～午後4時
おはなし会 平成31年2月17日(日) 午後1時30分～

3. 場所

津幡町文化会館「シグナス」1階 展示ギャラリー

4. 出席者

どなたでも

5. その他(注意事項など)

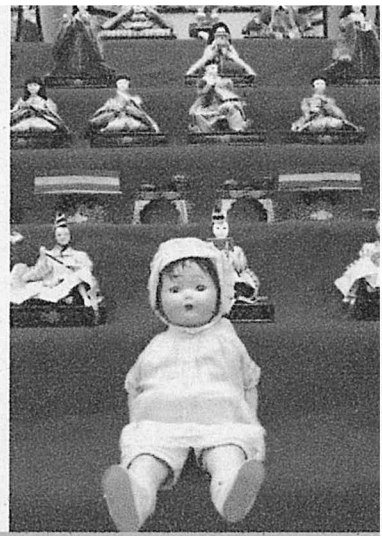
輪島市西保公民館所蔵の「青い目の人形 メリー」も展示します。

青い目の人形 とは？

今から92年前（1927年）に、日米の親善を願い「平和の使者」としてアメリカから12,739体の人形が日本の小学校、幼稚園に贈られました。

しかし第二次世界大戦により日米の関係は悪化し、人形は「敵国のスパイ」として処分されてしまいました。

現在、全国で現存が確認されている人形は約334体とされ、石川県内では津幡町、輪島市、白山市の3体が確認されています。



青い目の人形展と おはなし会

2019年2月16日(土)、17日(日)

展示：9時～16時

おはなし会：17日(日)13時30分～

津幡町文化会館シグナス 石川県河北郡津幡町北中条3丁目1番地
1F 展示ギャラリー

津幡町立実生保育園に贈られたジェーンオルフは、「人形には罪はない」との当時の保育士の思いで、地元の名士の蔵にかくまわれ終戦を迎えました。

現在は津幡町の文化財として、年に1度、終戦記念日でもある成人式の日飾られている貴重な人形です。おはなし会では手作り絵本「青い目の人形 ジェーンオルフ」も紹介します。この機会に是非、会いにきてください。

主催

津幡町教育委員会 生涯教育課 288-2125

津幡町児童センター 288-3019

